

第4回東大和市総合計画審議会 会議録

令和2年2月1日

東大和市

第4回東大和市総合計画審議会会議録（案）

- 1 **開催日時** 令和2年2月1日（土） 午前10時～午後12時10分
 - 2 **開催場所** 中央公民館 視聴覚室
 - 3 **出席委員** 菅野仁一委員、貴島信彦委員、栗原尚孝委員、小嶋哲夫委員、白相奈津子委員、田村茂委員、牧瀬稔委員、森林育代委員、安齋幸一委員、石川和男委員、尾崎恵理委員、梶並純一郎委員、佐竹芳浩委員、長谷川仁美委員、比留間めぐみ委員
 - 4 **欠席委員** なし
 - 5 **傍聴人** 1人
 - 6 **事務局** 田代雄己企画財政部長、藤本貴史企画財政部副参事、大野祐司企画担当係長
 - 7 **公開・非公開の別** 公開
 - 8 **次第**
 - (1) 開会
 - (2) 会議の公開
 - (3) 会長挨拶
 - (4) 議題
 - ア 東大和市の将来のまちづくりに向けた市民ワークショップ（前期分）の開催結果等について（報告）
 - イ 第三次基本構想（素案）の検討について（審議）
 - （ア）第三次基本構想（素案）の内容について
 - （イ）新たな都市像について
 - (5) その他
 - (6) 閉会
- <配布資料>**
- 資料1 東大和市の将来のまちづくりに向けた市民ワークショップ（前期分）開催結果
 - 資料2 （仮称）東大和市新総合計画基礎調査報告書の「今後のまちづくりにおける主要課題」と市の事業等の整理
 - 資料3 第三次基本構想（素案）前回審議会からの修正内容
 - 資料4 新たな都市像の検討資料

9 議事内容

(1) 開会

○会長

これから、第4回東大和市総合計画審議会を開催したいと思います。あらためて、おはようございます。きょうも午前中、早い時間からよろしくお願ひいたします。それでは、まず、委員の出席状況について事務局から報告をお願いします。

○藤本副参事

皆さま、おはようございます。事務局の藤本です。よろしくお願ひいたします。本日は委員の方、14人の方にご出席いただいております。残りの委員1人の方につきましては、遅れるとのご連絡をいただいております。ですので、条例の規定に基づきまして、過半数の委員の皆さまにご出席いただいておりますので、本日の会議は成立いたします。以上になります。

(2) 会議の公開

○会長

ありがとうございます。それでは、次第の2、会議の公開に入っていきたいと思います。それでは、事務局から2について説明をお願いします。

○藤本副参事

本日本につきましては現在、傍聴のご希望の方がお一人いらっしゃいますので、ご希望の方に入っていただきたいと思います。しばらく、お待ちいただきたいと思います。

(3) 会長挨拶

○会長

今日なんですけども、前回、昨年12月21日、開催した第3回審議会においては、基礎調査報告書、市民意識調査報告書、中学生アンケート調査報告書について、事務局から説明がありました。また、第三次基本構想素案の具体的な審議を行っていただきまして、素案の内容や新しい都市像について、委員の皆さんからいろんな意見をいただきました。

今回の第4回会議におきましては、前回の審議を踏まえて引き続き第三次基本構想の素案の内容や新たな都市像について具体的に議論をしていただきます。各委員におきましては様々な角度からご意見をいただきたいのですが、今日のご意見じゃありません、今日は決めますので、それをよろしくお願ひします。

今日、決めないと間に合いませんので、今日はいわゆる都市像について、最低三つまで決める、進めていきたいと思ひます。なので、今日は決める意向でご議論いただきたいと思ひます。そうしないとまた、ずるずると行ってしまいますので、今日は都市像を三つに絞っていきたくと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

(4) 議題

ア 東大和市の将来のまちづくりに向けた市民ワークショップ（前期分）の開催結果等について（報告）

○会長

それでは、4の議題に入っていきたいと思います。まず、(1)ですね。東大和市の将来のまちづくりに向けた市民ワークショップ前期分の開催結果等について、報告の方を事務局からよろしく願いいたします。

（「資料1 東大和市の将来のまちづくりに向けた市民ワークショップ（前期分）開催結果」に基づき、事務局が説明）

○会長

ありがとうございました。こちらは報告という位置付けになります。2ページ以降の具体的なものについては、また後ほど議論していきますので、この資料1の最初のページについてご質問とかあればいただきたいと思います。

○委員

おはようございます。今、資料の1/17ページの最初のところ、資料の1の冒頭に書いてあるのですが、要するにワークショップを募集して17の方がメンバーになっているわけですが、1/17の真ん中、下辺りにグループの1、2、3がありまして、その人数が6人、5人、6人となっていて17人ですから当然、こういう形になるのでしょうか、ばらけているのですが。

年齢別の内訳は、2番の参加者のところに書いてあり、それぞれの年代の方に入っていますが、グループ分けについては、ぴったりはいかないと思うのですが、分けた結果としては大体、同じような教育・子育てグループには、若い人も年齢の高い人も入っているのかどうかという、簡単にそういうところをお伺いしたい。

もう一つ、資料の中身については読ませていただきましたけれども、内容云々は後でということになりますけれども、例えば、議論の仕方はテーマごと、例えば、強み、弱み、1回目が強み、弱み、2回目がそれを改善するための基本的取り組み、3回目が目指すまちの姿と、こういうふうになっていまして、見ると、空欄のところがあるんですよ。

これはそれぞれのグループがまとめ切ったのか、あるいは事務局が、この資料を作るにあたって、このようにまとめてきたのか。最終的には我々がこういうものを市民の代表者のご意見だから参考にさせていただくということが本意だって書いてあるので、それは承知しているのですが、その空欄の部分のところはどういう意味合いがあるのか、伺いたいなと思ひまして、以上2点です。

○会長

では2点について、お願いします。

○藤本副参事

ありがとうございます。まず1点目で、グループ分けの関係でございます。こちらにつきましては市民の皆さまにお申し込みいただく時に、興味のある分野というのを皆さまの方にご記入いただいております。

皆さまのご興味のある分野、関心のある分野に基づいて、そちらを重視させていただいて

グループを分けさせていただいたというところ、まずグループ分けの趣旨であります。

2点目のご質問の方です。空欄の関係でございます。こちらにつきましては、参加者の方がその回によって若干お休みの方もいらっしゃったり、関心の強い方がお休みになっているとかいうようなところもございます。あと、時間の関係もございました。

進行につきましては今回、業務を委託しております富士通総研の担当の方にファシリテーター、司会進行を務めていただいて、ワークショップ自体は進行してというところなんですけれども、一番大きいのは欠席の方が多かった場合に関心のある分野について、そこまで踏み込んだ話が、踏み込めなかったというところが一番大きなところだと思います。以上です。

○委員

ご説明ありがとうございました。今、グループ分けの趣旨、希望の関係を取って、そのグループにということで、希望というのは冒頭あったので分かるんですけど、結果として例えば1、2、3のグループの中の教育・子育てグループには、例えば、その年代の人が、希望だから結果は分からないんですけど、年齢の高い人も意見を言えるわけなんで、そういう人が入っていたのかどうか。

結果として、ばらつきがあるような、要するに、そういうようなバランスというか、それがどのような結果になったのかということを知りたいなと思って質問しました。

○藤本副参事

今、ご例示をしていただいた子育ての関係のグループなんですけれども、こちらには実際に今、子育て真っ最中の30代の女性の方もいますし、60代の既に現役を引退されて地域でいろいろと自治会活動等を頑張っていたりするような方も同じ子育てのグループに入っておりました。以上です。

○会長

どうぞ。

○委員

すみません、質問なんですけど。このワークショップって無作為抽出3,000人からの公募ってことなんですよね。一般のこういうのに出たいっていう市民の方は出られないっていう仕組みになっているんですか。その辺を教えてくださいなんですけど。

○藤本副参事

こちらの市民の方につきましては、おっしゃられたとおり、無作為抽出の3,000人の方から、その中でご希望の方を募りました。その趣旨なんですけれども、普段、こういった場に参加する機会がなかなかないというような方に、よりそういった方の意見についてお聞きしたいっていうところが一番趣旨でございまして、無作為抽出というふうにさせていただきました。

こちらの方で、きっかけを作らせていただいて、少しでも市政の方に参加していただきたいというところ、無作為抽出という方法を取らせていただいているというところ、です。

○会長

よろしいですか。他にどうでしょうか。どうぞ。

○委員

よろしく申し上げます。読ませていただきまして非常に参考になりました。お聞きしたいのは、市民意識調査ということでワークショップを実施しているわけですが、回答の中で、強みと弱みについては、各回答者の方が統計などと比較して回答しているのか、単に感じていることとして回答しているのかをお尋ねします。参加者の中には、専門知識をお持ちの方もおられると思いますが、参考にするにあたり、どの程度の内容か教えてください。

○藤本副参事

こちらの強み、弱みの関係なんですけれども、人それぞれというところもあるかと思うんですけれども、全体といたしましては市民の方が素朴に感じてられているイメージ、そういったものでお話をされている方の方が多いというようなところだと思います。以上です。

○会長

他にどうでしょうか。

○委員

一番右の図の中で事務局コメントっていうところが、それぞれあると思うんですが。それは3回の話し合いを事務局の方がまとめてくださっているということでいいですか。

それとも、参加した方々が、こういう感じになるよねっていうもので文章をある程度、形を作ってもらった。例えば2/17ページのところの、各学校で子どもたちの豊かな心と幸せを育むことができるまちづくりを進めるっていうような言葉というのは、どういう形で出てきたのかを聞きたいです。

○藤本副参事

ありがとうございます。こちらのコメントにつきましては、事務局の方で考えております。実際の議論の中では、自由にお話をさせていただくというところが趣旨でしたので、細かな文言の検討というところまでには至っておりません。その趣旨をこちらの方で鑑みて付けさせていただいているというところであります。以上です。

○会長

事務局のコメントは、藤本さんの意向が入っているかもしれませんので、後ほど検討していきたいと思っておりますのでよろしく申し上げます。他にどうでしょうか。

なければ、特に私から1点だけなんですけれども、質問なんですけれども。このワークショップは見学は可能か不可能かという、そういう質問なんです。

○藤本副参事

こちらにつきましては前期3回、開催させていただいたんですけれども、最終的なまとめのところの3回目につきましては、公開という形にさせていただいたというところなんです。以上です。

○会長

今後の2回はどうでしょう。これは公開しますか、非公開でやりますか。令和2年4月以降の2回、これは公開か非公開かという。

○藤本副参事

まだ詳細は決まってないんですけれども、前期とやらって同じような形で進められればなというふうに考えています。以上です。

○会長

もし、公開としましたならば、委員の方に周知していただきたいなと思います。時間ある方は見ていただいて、参加してもいいかなと思います。なので、もし公開が決まりましたら、委員の方に全員周知をよろしくお願いします。こちらは報告ですので、報告事項は一回終わりにしまして。

○藤本副参事

申し訳ございません。ここで、資料2につきまして、併せてご報告させていただきたいと思います。

前回の審議会におきまして、(仮称)東大和市新総合計画の基礎調査報告書をお示しさせていただいた際に、報告書の中で『今後のまちづくりにおける主要課題』として挙げた事項の中で、すでに市で取り組んでいる事業があれば示してほしいという意見をいただきましたので、作成した資料です。その内容について、この場でご報告させていただきます。

〔資料2 (仮称)東大和市新総合計画基礎調査報告書の『今後のまちづくりにおける主要課題』と市の事業等の整理〕に基づき、事務局が説明)

イ 第三次基本構想(素案)の検討について(審議)

(ア)第三次基本構想(素案)の内容について

○会長

ありがとうございました。続きまして、ここからが本題なんですけども、4の議題、「(2)第三次基本構想(素案)の検討について(審議)」とあります。今回はこれについて議論いただいて、決めていきたいと思います。

特に今回、決めたいのはアとイがありまして、イの方、新たな都市像というものを今回中に決めないと、大分タイム的にも厳しくなりますので、しっかりと議論していきたいと思います。まず、アについて、事務局の方から説明の方をよろしく願いいたします。

〔資料3 第三次基本構想(素案)前回審議会からの修正内容〕に基づき、事務局が説明)

○会長

ありがとうございました。確認なんですけども、今日ご意見いただいて、次回で最終決定することで良いですか。あと、もう一点、確認なんですけど、次回で最終決定、決めた後に例えば部長会議とかに諮るということもあるんですか。

○藤本副参事

補足させていただきます。次回で決めるというのは全てを決めるわけではございません。こちらの方の基本構想は市全体の構想でございますので、市民の皆さまから広くご意見をいただく必要がございます。パブリックコメントでございます。

それから、市民説明会等も開く必要がございます。ですので、そういったことを踏まえまして、そこにお出しするための1回目の素案というんですかね、こちらを次回の会議で固めさせていただきたいなというのが事務局の考えです。

それからまた、市民の意見をいただきまして、それを踏まえて修正等をする余地があるというようなところでございます。

○会長

分かりました。ここから30分ほど、11時10分ぐらいまで、こちらについて意見交換をしていきたいと思います。ご意見、あるいはご質問ある方は挙手でお願いいたします。どうでしょうか。どうぞ。

○副会長

前回の審議会で委員の皆さんから出された意見を事務局の方で、かなり細かく丁寧にまとめていただいたなというところがあります。2点お願いします。

まず、1点目です。はじめにのところで、ここは大事な部分だろうなと思って、ざっと読んでいたんですけども。書かれていることは大粋いいかなと思うんですけど。線を引かれているところの下の方ですね。「中でも」から始まる段落の下から2行目、「人口増加や発展を前提とした考え方から新しい形に転換する必要があります。」のところですか。

こここのところ読んでいて、「発展」がここに書いてあって、「発展」を否定するような形になっているのかなと。その次の段落で、「第二次基本構想を継承・発展」と、ここは「発展」を使っているわけなので、「発展」という言葉をここに入れちゃうことに違和感があるなというふうに、1点感じました。

それから2点目は、先ほども説明がありましたけれども、例えば5/11の下の方の中学生アンケート、良好な学習環境ということですね。それから7/11の同じく中学生アンケートで街並みの美しいまち、この辺り、アンケート結果を活かしながら修正されているというところ、いいなと思って読ませていただきました。以上です。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。

○委員

「商店街の活発な活動により」や「商店街の活性化を図り」とかの文言がありますが、商店街の活性化は、そのとおりに全然いってないのが現状なんですね。

今、市の方で産業振興課かなんかでやろうとしている、商工会もそうなんですけども、商店街の活性化、今までは商店街に補助金を出して売り出しとか、そういうのをしてくれというようなことでやっていたんですけども、それはその時だけのカンフル剤にはなるけども、長期的な商店街の活性化にはならないんじゃないかと思います。

現在、市と商工会とか中小企業団体なんかでやっているのは創業者支援だとか、あと家賃補助だとか、そういうふうに新しく商売を始めるような人を東大和の商店街に誘致しようとか、やっていただきたいということで、そういうふうな方向に多分、市でも今やっていると思うんですね。

それが、ただ、「商店街の活性化を図り」だけだと、ずっと昔から言われてたことで、その辺のところをもう少し具体的に文言を入れていただいた方がいいかなと思うんですけども。以上です。

○会長

今回一回、皆さんに意見いただいて、次回、まとめて回答していただこうと思います。他にどうでしょうか。

○委員

今のご説明、かなり意見を入れていただいて大変ありがたく思っておりますけども。通しで全部、話をしちゃっていいですか。1 ページから全部、言っちゃっていいですか。

例えば、1/11 のところのページから言いますと、「私たちは」というところの冒頭は最初の部分なんで大事だと感じます。通しで読んでも、「私たち」を脚注で出すというのは、これも意味合いがこれでよければ、これでよろしいと思うんですけども、「私たち」という言葉がずっと出てくるので、こういうふうに表示するのもいいとは思いますが、

冒頭の部分の一番最初は例えば、「私たち、すなわち東大和市における活動の主体である市民、事業者及び市は」というふうに1回は言うておいて、後で私たちが出てきても、そこには触れてないと。そういう表現でもいいのかなと、一つの考え方ですけども、それが1点です。

それと、1/11 のところの、様々な社会経済情勢の変化について、もう少し国際的に日本の関係とかも含めて書いた方が良くと思います。

少し入っていますけども、例えば、今はインターネットも含めて特に、この20年は国際化とかグローバル化、世界の動きがすぐ影響が出てくると、そういうような部分もあるので、例えば第二次基本構想にも載っていますけども、国際化とか、その言葉をすぐ取らなくても何かもう一つ、世界とのつながりの、環境問題も書いてありますけども、そういう言葉を入れた方がいいのかなと。

前と同じになることを避けたいという考えがあるのかどうか分かりませんが、少し言葉を選んで、いろいろなどこに出ておりますので、そういうところに入れていただきたいということがあります。

もう一点は、1/11 の一番下のところ、「基本構想と基本計画を市の最上位計画として位置付ける」というふうに書いてます。そのとおりですけども。例えば、第二次基本構想のこちらのお手元のほうの13ページの表現、見ていただければと思うんですけども、13ページの表現には、総合計画の概要ということで書いてありまして、「東大和市総合計画は基本構想、基本計画、実施計画で構成しています」と冒頭、出てくるんですね。

文面を読んでいくと、1の②のところ、「本市の最上位計画として」ということで出ているわけですね。だから、あらためて基本構想、基本計画、実施計画というのが総合計画ということで冒頭示しておいて、特にその後、本市の最上位計画ですよと、全部を捉えて言っているようにも見えるんですよ。

それで、他のところのいろいろな物の本とかに書いてあるものを表現すると、最上位計画というのが総合計画であって、その中身はこの三つですよというふうに書いてあるものから、ここを今回「基本構想及び基本計画を市の最上位計画として位置付けます」というふうに言い切ると、これが本当にいいのかなとか、よく精査しないといけないと思います。

最初ですので、よく他も見たり調べて、間違いがあってはけませんので、そのところは少し、もう一度、見ていただきたいなと思います。説明があれば、またお伺いしますが、1/11 ページはそこで終わりですけども。

あと次が、分かりやすくていう言葉が出ていましたので、これはそういうことでいいかなと思います。それと、4/11 ページのところの、第4章まちづくりの目標の中の1の都市像

のところですけども、3段目ぐらいのところに、さらについてというような文章が書いてありますよね。

「さらには、少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、賑わいと活力に満ちた」ってというようなことで書いてありますが、「も」というのは文面として引っ掛かるなと思うんですよ。

要するに、少子高齢化、人口減少が進展する中であって、そういう状況であるけれども、いろんな活動を通じて持続可能なまちづくりをやっていこうと、そういうような話が冒頭、みんなの共通認識の中に出ているわけですから、例えば、活力ある持続可能なという文言が続いていますので、活力、活力っていう言葉が、上の方で賑わいと活力ということが出てきちゃうので、私は、こういうふう考えたんですけども。

「さらには少子高齢化と人口減少が進展する中であっても、賑わいと活力に満ちた産業や地域を背景に」、ここまで同じですけども、「市民同士が様々な活動を通して交流し合える、いきいきとした持続可能なまちづくりを進めることが望まれます」というような表現でもいいのかなど。

というのは、第二次基本構想の左側のところを見ても真ん中辺り、「交流し合えるいきいきとしたまちづくりが求められています」と、こういう表現になっているんですね。同じような表現を丸々使うことはないので、望まれますというようなことを当ててみましたけども。

さっき言いましたように、今回、テーマの主なものとして人口減少、高齢化というようなことで、活力ある持続可能なということを入れた方がいいのかなと思って。活力あるということは、上のにぎわいと活力、活力があるとだぶっちゃっているんで、持続可能なまちづくりを進めることが望まれますと、こういうような文面でもいいのかなと、参考にお話しさせていただきました。

次が、6/11 ページの一番上の右側、第三次基本構想素案の意見対応後のものですけども、文面をこういうふうに作っていただきました。2番の「健康であたたかい心のかよいうまちづくり」の中で、このような文面ができてはいるわけですけども、内容は社会的弱者となり得る方の代表を出しているんだと思うんですけども、「高齢者や障害がある人を含め、誰もが地域社会の一員として、健康でいきいきと暮らすことができるよう云々」って書いていますね。

これは今は当たり前のことだと思っているんですね。この、誰もがってというのは市民の誰もがって言葉に置き換えてもいいと思うんですけども。もし、こういうところの高齢者や障害がある人を含めってということを出すだけじゃなくて、もし、そういうそういうことならば、今日の資料2を見ていただくと、市の方で出していただいた資料の2があるんですけども。

資料の2の一番最初の1/2 ページのところ、誰もがいつまでも健やかにいきいきと暮らせる環境の充実の中の一番最初のところに、「乳幼児から高齢者まで障害の有無等にかかわらず、誰もが」っていうふうなことで文面を作っていただいているので、その文面を使ってもいいのかなというふうにも思います。

「乳幼児から高齢者まで障害の有無等に関わらず、誰もが地域社会の一員として」という

ふうにしてもいいのかなと。社会的弱者については当たり前の話として、市民の誰もが地域社会の一員としてって言うことでもって言う考えもありますけども、あえて、ここをしっかりと出すということであれば、乳幼児からって言う文面を、資料の2にもありますので、そのようにやられたらいいのかなという部分も感じました。

最後に 11/11 ページ、分かりやすくするという言葉の中に、第6章、一番右側のところですけども、1番のところ、1、2、3ってありまして1番のところ、「費用対効果を十分に勘案しながら云々」というふうに書いてあります。

内容はこれでよろしいかと思うんですけども、「勘案」という言葉は調べましたら、「あれこれと考え合わせること、いろいろと検討し考え合わせること」というふうになっております。分かりやすく表現というのは前の方にも出てきましたので、「費用対効果を十分に踏まえて総合的に検討し、考え合わせながら財源や人的資源の云々」というふうに文面を整理してもいいのかなというふうに思いました。以上です。

○会長

ありがとうございました。

○委員

私からは3点です。まず今、他の委員がおっしゃったように、1ページ目のはじめにの文なんですけれども。社会経済情勢はというところで前回もお話したんですけれども、同じく、世界の中でどういう状況になっているのかって言うところから掘り下げていくことが大事なのかなというふうにお伝えしたんですけれども。その辺が抜けているかなと思うので、もうちょっと視野を広く持っていた方が分かりやすいのかなと思いました。

続いて6ページ、これも他の委員と同じなんですけれども。これ、でも、すごくいいなと思った文言が、途中で2番の「健康であたたかい心のかよいうまちづくり」のところで、「市民同士が地域のつながりの中で、共に助け合い、支え合う体制の整備」。これが本当に福祉にとって大事かなと思ひまして、まず、「高齢者や障害がある人を含め」という文言一つでも、自分事ではなくなってしまうなというふうに感じました。なので、同じく資料2の方で、誰もがいつまでも健やかにいきいきと暮らせる環境の充実というところの文言を入れて、全ての人にとって福祉というのは関わりがあるということと、あと、障害があるとか、福祉を必要としてるって言う社会的弱者ではなくとも、みんなで支え合っていくって言うことが表せられているといいんじゃないかなと思いました。

ということなので、「高齢者や障害がある人を含め」という文言は要らないというか、変えた方がいいかなというふうに思います。

続きまして、三つ目が10ページなんですけれども、これも他の委員がおっしゃっていたように、商店街の活性化だけではなくて、発展には創業者、商業者を増やしていくって言うことと、あと就業者を増やしていくということが大事だと思うので、真ん中辺りの6の(1)、これが企業活動や商店街などの活性化と勤労者支援に取り組むって言うところで、勤労者の支援だけではなくて、新たに就業する、そういった人たちへの支援も必要かなというふうに思いました。以上です。

○会長

ありがとうございました。

○委員

9ページのところです。以前、基本姿勢のところ、生物多様性とか、基盤環境の話をご提案をした時に、施策の方に入れるので、こちらには入れませんというふうにおっしゃってたんで、その辺の内容をこの辺りに入れるといいんじゃないかなというふうに思いました。

9ページの一番右側のところの3行目から、「貴重な地域資源である緑や水などの自然を保全・活用していく」とあるんですけど、緑と水の自然を保全活用すればいいのかっていうと、決してそうではなくて、先ほど言ったような話を例えば入れるとすると、貴重な地域資源である緑や水などの自然環境と様々な生態系をもたらす生物多様性を持続的に保全創出活用していきますみたいな感じに、もう少し視野を広げて、環境というのは緑と水だけじゃない話なのと、生物多様性というのは緑とか自然環境のことだけではなくて、もっと総括的な概念なので、その辺をちゃんと区別して検討していただきたいということと。

ここ、今三つ出ていますが、まず、(1)のところなんですけど、市街地の身近な緑と水辺環境を保全してとあるんですけど、根本的に足りてないので、まず「保全創出」という言葉が必要だと思います。

ここ三つあるんですけど、それ以外に、さっき言った生物多様性の話っていうのは、この三つ書いてあることとは全く別の次元の話なので、ここにも例えば、(4)でも、どっかすき間でもいいんですけど、例えばですよ、「あらゆる市民生活の基盤となる生物多様性を保全し、その恩恵を次世代に向けて享受し続けられるまちづくりを進めていきます」みたいなことを入れることによって、それこそESDとかSDGsみたいな言葉というのが年末に出た東京都の総合計画の中に、がちり書いてあって、そういうことをやりますというふうな話になっているので。そういうところにつなげていくためにも、そんなことをしたほうがいいのかないかと思いました。

それから、(3)のところも言ってることはこんな感じでいいと思うんですけど。もう少し強めのはっきりした宣言、例えばゼロエミッションみたいな強めの言葉を使って、もうちょっとやる気があるよみたいなことを言ってもいいのかなというふうに思います。

もう一点が10ページ目のところの、(2)のところの3行目に、「市街地と農地が共存した」というふうにあるんですけど。市街地と農地が共存するというよりも、人と農地が共存するみたいな方がいいのかなというふうに思います。

市街地と農地が本当にこれから共存し得るのかみたいなこともあるのかなということと、多分、こういう中に市民農園の拡充とか、そういう施策がぶら下がってくるんだと思うんですけど、そんな言葉に少し検討された方がいいのかなというふうに思いました。以上です。

○会長

今の意見に関連して、ゼロエミッションをやさしく言うと、どんな言葉になりますか。片仮名じゃなくて。多分、ゼロエミッションだと分かんないですね。分かんない方いらっしゃると思うので、なので脚注を付けない場合は、何かあると思うんですけども。

○委員

ちょっと考えます。

○会長

お願いします。他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

中学生のアンケートとか、いろいろと織り込んでいただいて本当にありがとうございます。

今日報告があったワークショップの意見の中でも、事務局の方で網羅されていると思うんですけど、言葉が古くなっちゃうかもしれない、11/11 ページの最後の方かな。コミュニケーションという言葉が、コミュニティという言葉がほとんど出てこないんですけど。これは例えば 11/11 の 3 番とか、地域のコミュニティの活性化とか、そういうコミュニティという言葉を入れておいた方がいいのかなと思っていますので、是非ご検討ください。以上です。

本当に、ワークショップの中の強み、弱みで、結構、行政とのコミュニケーションがないよねとか、そういうのがあって。行政とか企業が地域貢献というか、地域に根強くやっていないといけないと思うので、是非そこだけはよろしくお願いします。

○会長

他にどうでしょうか。今までのところで事務局の方ら、これはこんな意図ですかとか、もしあれば確認してもらえればなと思います。

○藤本副参事

1 個だけすみません、説明させていただきたいところがございます。1/11 ページの基本構想と基本計画の位置付けの関係、委員からご質問いただいた関係です。こちらについて現段階の事務局の考え方について、ご説明したいと思います。

こちらの方、総合計画というふうに総称いたしますと実施計画が入ってまいります。基本構想、基本計画、実施計画と 3 層構造での総称した呼び名になります。総合計画自体を、今までもそういうふうにしていたんですけども、最上位計画というふうに位置付けますと、必然的に実施計画についても最上位計画というふうに位置付けられるというようところがございます。

実施計画につきましては毎年度、毎年度、作成をしております、ローリング方式ということで予算編成の前段階で計画を作成しているんですけども。これ自体を最上位計画として位置付けることについては疑問が生じたため、このような文言の整理をさせていただいたと。

今、各分野におきまして、いろんな計画がございます。環境の分野であるとか、産業の関係であるとか、いろんな計画がある中で個別の計画と比較した時に、実施計画自体をその計画よりも上に位置付けることについて整理が必要かなというところも考えまして、基本構想と基本計画のみを最上位計画というふうに位置付けて整理をさせていただきたいというところでも考えました。

各市等の状況も踏まえまして、再度あらためて状況確認をして、検討させていただきたいというふうに思います。以上です。

○会長

他にご意見とかどうでしょうか、是非遠慮なく。

○委員

一つだけ、まだ調べ切れてなくて分かってないんですけど。8/11 の (2) ですね。「市民一

人ひとりが平和の価値を共有し」っていうところがあると思うんですけど。東大和市は変電所っていう他にない平和の象徴だったり、戦いの歴史が、象徴があるわけで。

そういうところでもっとアピールというか、そういうところを市民に対しても意識させるような文言があってもいいのかなということと。比較したいのが広島市だったり、そういうところ取組みだったり、文言、書き方とか比較してみたんですけど時間足りなくて、できなかったんで、そういうところですね。以上です。

○会長

ありがとうございます。もう少し強く書いた方がいいんじゃないかという、そういうご意見だと思います。他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

8ページに3か所、出てくるんですけど。「支援を行う」あるいは「支援をする」っていう文言が出てくるんですけど。これが市がお金を出して何かやるっていう、そういうようなイメージに全部、見えてしまうような気がします。

特に、僕はスポーツ関係をやっていますけど、スポーツ・レクリエーション活動を通じた市民一人ひとりの健やかな心と体制づくりを支援っていうのは、これ、市が支援するだけでなしに、お互いが支援し合っとか、あるいはスポーツ団体が支援し合っとか、そういう形になろうかと思うので、支援という言葉は違う言葉を使った方がいいんじゃないかなというような気がいたします。以上です。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。

○委員

お世話になっています。私は6/11、先ほど出てきた2番の「健康であたたかい心のかよいあうまちづくり」で、基本的にはこちらの方で、今言われた全ての市民を含めたものっていう形、そういう方向でいいかと思うんですが。

(1)から(4)の中で、児童生徒っていうんですか、あるいは幼児とか、そういった言葉をどこかに入れておいた方がいいのかなという感じがしました。一番入れやすいのは、(2)の「地域の包括的な支えにより」の部分で高齢者が入っているんですけど、この中に子どもたちとか、そういったような表現があった方がいいかなと思っています。

これ結構、後から響いてくるんですけど、児童福祉関係の実施計画まで響いてきますので、この辺の言葉の表記ですか、一つ入った方がどうかなというふうに考えております。

○会長

他にどうでしょうか。どうぞ。

○委員

さっきのゼロエミッションなんですけど、なかなか、しんどいので。例えば9ページの(3)のところの「環境負荷の少ないまちづくりを進めていきます」じゃなくて、「環境負荷のないまちづくりを目指していきます」とか、その上のところも、「廃棄物の少ないまちづくりを進めていきます」じゃなくて、「廃棄物のないまちづくりを目指していきます」とか、かなり長い計画なので、そういうことも前向きに考えて検討してもいいのかなと思いました。

○会長

ありがとうございます。一回ここでこちらの議事としまして、この後、都市像の方に入っていきたいと思います。それも踏まえながら議論していきたいと思います。

○委員

落としちゃったんで、すみません。

○会長

どうぞ。

○委員

すみません、先ほど言い落としましたけど。5/11のところの第5章のところなんですけども、1番の子どもたちの笑顔が輝くまちづくりに(1)、(2)、(3)がありますね。(2)のところの表現の見直しの中で、「地域社会が一体となって、子どもたちの健全育成を推進し云々」って書いてあって、その後はいいんですけども。今回、「地域社会」っていうふうに変えたんですよ。

前のは「家庭、学校、地域が一体となって」という言葉を、あえて「地域社会が一体となって」と変える必要はないのかなと思うんです。家庭も大事、学校も大事、地域も大事なので、それを具体的に示した方が分かりやすいと思うんです。あえて、地域社会っていうふうに一括りにして意味合いが取れないと思うんです。だから、元の方が私はいいと思っているんですけども、どうでしょうか。

○藤本副参事

次回回答します。

○会長

私からも1点だけ、今さらなんですけども。一番最初の1/11で、はじめにの部分の3段落目です。「中でも、大きな課題となっているのが急速に進展している少子高齢化と人口減少」なんですけども、少子化はまずいかもしれないんですけども、高齢化ってそんなにまずくないですよ、長生きすることなんで、個人で考えると、長生きしたほうがよいですよ。なので、高齢化というのは、大した問題ではないかなという気がするんですよ、高齢化に関して言うと。

ちなみに人口減少はリンクしているのは少子化ですので、高齢化は長期的には人が増えますので、長生きすれば、少子高齢化がどうなるかなということは考えてもいいかなという感じはしました。

人口減少は悪いというイメージはあると思うんですけども、高齢化に関して言えば長生きどんどんしているわけですから、それは決して悪くないと思いますので、それを検討してもらえればと思います。

続いて、今日の重たい部分なんですけども、(2)のイに入っていきたいと思います。こちらが今回のメインでして、冒頭でもお話ししましたけども、今回、3案に絞り込みたいと思います。これを絞り込んでかないと、だいぶ後々厳しくなりますので、皆さんからご意見をいただいて、さらに決めていきたいと思うので、議題の(2)のイ、新たな都市像について、事務局から説明の方をよろしく願いいたします。

(イ) 新たな都市像について

(「資料4 新たな都市像の検討資料」に基づき説明)

○会長

ありがとうございました。それで、まずは一応、3案に絞りたいんですけども、絞る前の過程をどうしましょうかと話をしたいなと思うんです。どうしましょうかというのは、例えば1/8ページにある当初案の中から3案に絞るのか、あるいは当初案を参考に皆さんがまた新たに作って絞るのか。

あるいはそうではなくて4/8に様々な案がありますけども、この中で絞っていくのかっていう、これ全くノーアイデアですので、まず、これについてご意見をいただきたいと思いません。

事務局の案が特になければ、本当にノーアイデアでやっていきたいと思しますので。一応、今日のミッションは3案を決めたらいいという、これは落としどころとして一応決まっています。これについてご意見をいただきたいなと思いません。

○委員

まず資料の4で、事務局は特にないとおっしゃってますけども、今日、提案されてるわけですよ。「人と自然」、「緑、水、湖」、「豊かな自然」と三つの枠の中でそれぞれを三つずつ出していて、この内容はこれに書いてあるように、修正を加えた9案になってるわけですよ。その中から3案を出していただきたいというのが事務局の提案ですよ。

我々の使命というのは、審議会から市長に答申する時に、こういう背景があって、こういう将来の望み、希望があるので前向きな、こういうものを出しましたっていうふうに持っていければ理想なのかなというふうに私は考えてます。

それで、参考までに用語とか、事務局の方がかなり手を加えていただいて大変助かりましたけども、整理も助かっているんですけども。例えば各市の都市像、8/8ページのところを見たって、他の市のところを云々言うのもなんですけども。それほどイメージは、この市はこういうテーマ出したって、そんなにイメージは湧かないじゃないですか、見ていただくと同じようなもんじゃないですか。

だけど想いはそれぞれの市でかなり議論したと思うんですよ。例えば、8/8ページで狛江市ってあるじゃないですか。狛江市は「私たちがつくる水と緑のまち」、簡潔ですよ。水と緑、私なんか狛江行った時なんかは、多摩川でいかだレースなんかやったりしているんですよ。そんなとこをイメージしているのかなと。

みんながみんな全部イメージはできないと思うんですけども、東大和は多摩湖があって狭山丘陵があって、共通認識のところを審議会の委員の皆さんと共通認識を押さえましたよね。押さえた言葉の背景にも、それぞれの委員の想いは、また違うと思うんです。

そういうことも今までの議論を加味しながら、市の方はこういう修正の、例えば、平仮名で「まち」を書いてほしいとか、そんな意味合いがあるのかなと、そんなことで修正の内容を見ておりました。

一番いいのは、責任があるから、今後20年のものですから、夢があって希望があって今の生活を守れるような大和らしいものを作ればいいのかと、今の段階ではこのようにお話をさせていただきます。以上です。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。事務局案を基に検討してったらいいんじゃないか、そういうご意見だと思っんですけども、どうでしょう。よろしいですか。

事務局案というのは検討資料4の6/8の部分。あるいは一番最初の部分、1/8のところ。1/8、一番最初に分ね。1/8に書かれてる9つの案があります。

これを基にするんですけども、例えば、これが全てじゃありませんので、これに対して、こんな言葉入れたらいいんじゃないかとか、あるいはこうした方がいいんじゃないか、もし、あればご意見をいただきたいなと思います。あと、皆さん、中でこれがいいんじゃないかとか、そういうご意見もいただきたいなと思います。どうぞ。

○委員

大事なことなんで、前にもお話ししましたけども。ご説明によると、将来都市像の案を出していただいた方は、お願いした方は、ここにいらっしゃる審議会委員と、あと市の策定本部の部長、参事ですよ。

この方たちに案を出していただいて、結果的にこれをアンケート調査しました。そして、その際には、「この案の中から新たな都市像を決定するわけではありません。この調査は都市像の視点等に対する総合計画審議会委員の皆さまの考え方について調査し、今後の検討の参考とさせていただくものです」と、しっかり書いているんですよ。もう一度、読ませてもらいましたけども。

その上で、総合計画審議会委員の方、新総合計画策定に向けた市民ワークショップの第3回の参加者12人、それから、市役所の30歳代以下の若手職員を対象にアンケートを実施したと思うのですが、本部員はなんで、考案はしたんだけどアンケート調査は出さなかったのか、私は思ったんで、その辺のところを聞きたいなと思って。

あと、さっき視点を三つに分けていただいて、区別には分かりやすかったんですけども、いろんなものが出てみると、あれもこれもいいな、これもいいなって迷うんですよ、はっきり言って。

我々は審議会だから特にそのところが、どうしてこういうのを選んだのかということに責任があるんでね、なかなか難しいなと躊躇しちゃいますよ。だから、さっきと同じになりますけども、市が精査した9案の中で集約してきたっていう部分もあるので、共通認識を踏まえながら、さらにこれ以上のものが他のところに抜けてたということであれば、ご意見言っていただいていいのかなというふうには感じます。以上です。

○会長

ありがとうございます。この9案に集約されているので、それを基に考えていこうという、そういう議論だと思います。こちらの9案をベースとしながら、もし、皆さんの方でこういう文言を加えた方がいいんじゃないかとか、もし、あればご意見いただきたいなと思います。

○委員

私もこの資料4を拝見しまして、そろそろ決定していく時期だなと思っまして、まず、この9案というのを前提に自分でも考えてみました。それとあと、前回、言っていた事務局の方のスタンス、そこも踏まえて自分なりに思っんですけど。

まず、この9案の中でいいなと思っるのが、一番上の、「人と自然が調和した笑顔と活気あ

ふれるまち 東大和」ですね。あと、自分としては真ん中の、「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」、この辺あたりが一般的に東大和を表現しているものなのかなというふうに思っております。

それであと、自分はこれを自分の想いの中で考えたんですけど、今言った2番目のに、多摩湖がって、多摩湖っていうのを入れたいなと思ったんですね。多摩湖も「た」と「ま」は平仮名で、あと、「こ」は湖。

「人と緑とたま湖が調和した笑顔あふれるまち 東大和」、これ 32 文字になってしまうんですね。25 字までが理想と前に会長が言われてましたが、今使っているのは 28 字だと思うんですけど、それを超えてしまうんですけど。こういった形で、ちょっと加えたものも考えてみました。基本的には私、今言った二つ、最初に申し上げた二つ、これは案としていいなというふうに考えております。

○会長

他にどうでしょうか。どんなご意見でも構いませんので。

○委員

9 案の中から 3 案出すということであれば、まず、「人と自然が調和した笑顔と活気あふれるまち 東大和」というのが一番、アンケートの点数で付けるものではないかとは思いますが、皆さまの意見としてもいいなと思っていただいているところだと思うので、まず 3 案を出すのであれば、一つこれを入れてもいいんじゃないかなというところがあります。

あとはフレーズだけでどれぐらい、このフレーズを使っているかというのも出しているかと思しますので、「笑顔」というところをくみ取って、案の中に「笑顔」というのが入ってるものを選ぶというのもいいのかなと思っております。以上です。

○会長

お願いします。

○委員

一つ質問なんですけど。この都市像っていう、この言葉って今までどういうシーンで使われているのかというのを教えてほしいんですけど。

○会長

お願いします。

○藤本副参事

分かりやすいところで言いますと、例えば市のホームページの上の方にも書いてありますし、市の方から発出する封筒のところにも書いてあります。ですので、市の方で使う印刷物というんですかね、そういったところにも使われる機会というのは多いのではないかなというふうに思います。

○委員

まず、これは誰向けに書くべき言葉なのかなということによって、少し内容が変わるような気がするなと思っていて。正直、僕、自分が東大和市に住んでいますって人に言って理解してくれる人はほぼ、いないんですよ。

池がある所っていわれると言うと、あ、あそこっていうふうに分かってくれるんで、もし、外の人に向けてっていう意識があるんだとすると、水と緑っていうよりか、さっきおっしゃ

っていたように、多摩湖みたいな言葉を、地域が分かるような言葉にした方が親しみも持っていていいのかなというのが一つ思ったことと。

あと、「ふるさと」みたいな言葉があってもいいんじゃないかなというのが思っていたことで。余りここには出てないんですけど、共通認識の中でも直接、「ふるさと」とは書いてないんですけど、こういうイメージを総括すると、そういう言葉になるのかなという気がしています。

正直、アンケートの高い方から選んでいけば、それはそれでいいと思うんですけど、それを基に文言を入れ替えるみたいな方法で考えていくとかがでしようかっていう気がしました。以上です。

○会長

他にどうでしょうか。こちら、お願いします。

○委員

私も他の委員と同じで、誰に向けての発信なのかっていうことは一番関心もありました。もし、対外的に向けてのことであれば、私も東大和ってどこにあるんだろうと思っていた人間だったので、多摩湖や緑地などの位置関係みたいなもの分かるものとかがいいのかなと思いました。

なので、9案の中からということだけではなくて、そういった、多摩湖や緑地などの文言を入れ替えて作るものもいいんじゃないかなと思いました。以上です。

○会長

どうぞ。

○田代企画財政部長

すみません、事務局の田代です。いろいろなご意見ありがとうございます。誰に向けて発信するかということですが、こちら、将来の都市像ということで、今、主語が私たちになっていますけれども。市の中で活動する皆さま、事業者の皆さまなどが東大和市が20年後、どんなまちかなということ共通認識として持てるような、それが都市像という形となっています。

ですので、これを対外的に発信して東大和市を知ってもらおうというよりは、地域の中、市民の皆さまが同じ方向を向くものだよということで認識してもらおうのが一番の目的だというふうに捉えております。

ですので、今、庁内で封筒とかホームページというお話もさせていただきましたけども、私たちが施策を進めるにあたりまして、例えば第二次基本構想に定める事業に取り組みますという表現に変えて、将来の都市像、今で言うと、「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」を目指して仕事しております、施策を展開しておりますという、そういう言葉を使って施策の目的を築き上げているというようなことに使っております。

ですので、繰り返しになりますけども、この言葉をもってブランドプロモーションのために、市外に発信するところまで想定したものではないというふうに捉えていただければ幸いです。以上でございます。

○会長

あくまでも私たち市民のことですね、対象になっていると。

○委員

前回も言ったんですけども、簡潔明瞭がいいと思っています。余り長くすると覚え切れな
いですし、簡単明瞭がいいのと。それと、「人と自然が調和した」というのは今でも使ってい
ます。

それで、また今回も同じフレーズでやったならば、市の封筒も前のを使っているんじゃない
のかなと思われたりして。もっと前回と違う新しいフレーズで考えていただいた方がいいん
じゃないですかね。だから、「人と自然が調和した」というのは入れない方がいいと思います。
以上です。

○会長

他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

短い方が、私もみんなが覚えられる、共通意識というところではいいと思います。あとこ
の前、市の会議の方でもトトロの森を大事にしましょうというか、生存させていくというこ
とで東大和市、東村山市、所沢市の協力とかを得て、いろいろな活動をしてるようなところ
も聞いてますけど。

その中心に、多摩湖という湖があるっていうのを考えると、4ページの方の真ん中ら辺の
ところの、「美しいみずうみ みんなで支え合うまち」という、美しい湖を保つためには自然
を大切にしているということとか、支え合うところの部分がとてもいいんじゃないかな
と。

この言葉どおりっていうわけではないんですけど、そういったところをただ覚えるだけで
なく、実行というか行動していくために、どう発信していくかというのが課題なのかなとい
うふうにも考えています。多摩湖って、すごくいいなと思っているので湖が入るといいなと
思いました。

○会長

お願いします。

○委員

私、前回の時に、「人と自然が調和した」という意味というものの解釈についてお願いした
んですが、まさに、このとおりでしてですね。ただ、言いたいことは自然が身近にあって
住みやすいまちなんだよということを表現してると。

私はなぜ、それがくみ取れなかったのかというと、「人と自然が調和」という言葉に非常に
違和感を感じていまして、私だけなのかもしれないんですが。要するに、調和するとい
うことは何かと比較して、何パーセント緑になったら調和するのとか、そういったイメージで受
けてしまったものですから、調和という言葉に違和感がありました。

それで、検討資料の中にいい言葉が非常に多くありましたので、組み合わせしてみました。
それで、6ページの水と緑に囲まれてという三つ目ですか、この言葉を湖と緑に囲まれてで、
一番上の、人と自然が調和というのをそれに置き換えてみたらどうだろうというふう
に考えました。

続けて読みますと、「湖と緑に囲まれて 笑顔と活気あふれるまち 東大和」、これで皆さ
ん言っているようなことが通じるのかなというふうに思いましたので、参考までに発表させ

ていただきました。以上です。

○会長

ありがとうございます。お願いします。

○委員

今おっしゃったように、「人と自然が調和」というのが抽象的かなと思うんですけども。その分、環境を大事に自然と共生していくっていうことが、すごくイメージとしては伝わりやすいのかな、逆にというふうに思いました。

ということで、この9案から選ぶとしたら、私としては「活気」っていう言葉がすごく好きなので、一番上の、「人と自然が調和した笑顔と活気あふれるまち」。あとは二つ目のところの、「水と緑と笑顔が輝くまち」、あと三つ目は、「豊かな自然と笑顔あふれるまち」。9個から選ぶなら、ここかなというふうに考えます。以上です。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

まだ見ているとこですけども、全体の中で。考案者の説明が出てましたから、ここで初めて出てきたと思うんですよ、今までの議論の中で。こういうのも、参考になるのかなと思う中で、一つ質問ですけども、各市の都市像を見ると個別名詞というのは出てきてないですね。

私も、多摩湖は愛着があります。ずっと生まれて育った頃から、そばにありましたんでね。外にお話しするにも通じる場所があったんで、そういうものも頭に入れましたけども。都市像を描く時に抽象的っていうか、大きく捉えて考案する時に個別名詞は避けるんだというような認識でおりました。

これが入られるなら、例えば、多摩湖じゃなくて、他の市でもいろんな地名とか名称がありますよね、川でもね。そういうところをなぜ書いてないのかなと。その辺のところ、そういう考え方があるのかどうか、あらためて聞かせていただきたいと思います。さっきいろいろな案で、多摩湖の表現を出していただいている、それを否定するものではないですけども、そういうところ最初に引っ掛かったもんでね。

それともう一つは、他の委員が言われたように、前の会議でも私も冒頭、自分で考える時も、「人と自然が調和した生活文化都市 東大和」、これを20年間使ってきて、ずっときていたもんですから、また違う表現でされたらどうなのかなというふうに思って、自分ではこういう表現を使ってこなかったんですが、いろんな考案者の意見とか皆さんの意見を聞いてみると、こういう基本的なものについては、意見の中で、過去の意見の中では、こういうのは大事なので変わらなくてもいいんじゃないかと。

それとプラス、活気とか前向きな夢とか、そういうものなら何かの形を入れてやるのもいいのかなというご意見が出てたので、そうかなということも今までには考えてきました。そんな中で今、どれがいいのかなというふうに思っていますけども。そんなところで、質問のところに答えていただければと思います。以上です。

○藤本副参事

今、委員からのご質問いただいた、個別の名称の関係でございます。正直言って、はっき

りしたところは分からないんですけれども、各市、こちらの都市像というのは大きな目標というか、どの文言を見ても他の文言も含めて抽象的な文言で終わっております。

そのようなことも含めて、あまり個別、具体的なことを書くと、例えば、それがあある所の地域だけが重視されるのかとか、そういったようなご意見も多分あるんだと思いますね。ですので、市全体としての目指す目標というところなので、個別的な表現というのは避けているのではないかという推察なんです。推察なんですけれども、そのようなことは考えられるかなというふうに思います。以上です。

○会長

私も過去、見たことないですね、個別の名称が入ってるというのは。あえて入れるという選択肢もあると思いますけども、ただ、今のところは、この中では、多摩湖は多分いいものって議論をしてますけども、悪いと思う人もいるかもしれませんからね。虫がいっぱい出てね、夏は大変なんだとかね、そういう人もいると思うんですよ。だから、どうしても漠然としているのかなという感じはします。

他にどうでしょうか。今日、流れ的には3案を決めて、次回で絞り込んで1案に決定すると、そういう流れになります。お願いします。

○委員

どれでもいいような気がしてきたんですけど。個人的には五つ目の、「ほほえみと水と緑のまち」っていうのがいいかなと思っていて。さっきの対外的に云々っていうのが余りないのであれば、漠然としている方が、むしろいいのかなと思っていて。

ただ、ちょっと語呂が悪いような気がするんです。例えば、「水と緑とほほえみのあふれるまち」みたいな感じに、1番目と5番目を組み合わせてみたいなのがいいかなと思ったりしました。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。どうぞ、お願いします。

○委員

第三次基本構想作成の共通認識が都市像であるというふうに僕は思っています。それとの合致性がどれぐらいあるかなというふうに見てみたら、全て合致していて、反映されるなどというふうに思っています。

そうなると、簡潔で分かりやすくイメージが伝わるものもいいのかなというふうに思って、僕も、「ほほえみと水と緑のまち」というのが分かりやすく、かつイメージも伝わるなというふうに個人的に思って。あと一番最後の、「自然と暮らす 平和と暮らす」というのが、ぱっと簡潔で分かりやすいかなというふうにも思いました。以上です。

○会長

ありがとうございます。他にどうでしょうか。特になければ、こんなご提案なんですけども。皆さんから今、幾つかご意見をいただきましたので、それを基にして、私に一任させてもらってもよろしいですか。

次回以降に3案を出して、そしてまた決めるという、それでよろしいですかね。多数決は採りたくないなと思うんですよ。なので、皆さんの意見をいただきながら、私に一任させていただいて、次回に3案、私の方で出しますので、その中から選ぶということでもよろしい

でしょうか。

○田代企画財政部長

次の会議では、1案に決めていただきたいと思います。

○会長

ここで3案を決めなきゃいけないとなると、結構バラバラなんですよ。純粋に皆さんの意見を聞くと、一番上が3票で、緑の部分が2、2、最後が1、1という感じなんですけども。

時間もありませんけども、皆さんの中で、これがいいよってものを挙手でいただきたいと思いますけども、選んでいただきたいと思いますけども。皆さん、目をつぶっていただいて、私だけが計ります。

上から、私が読んでいきますので、いいなと思うのに1人3票、手を挙げていただいて、それを基に私の方で絞り込みたいと思いますので、よろしいですか。最大1人3票、両手は駄目ですね。どっちかって、そういう感じですね。挙げなくても構いませんので。

○委員

すみません、聞いてもいいですか。ここに入っている文字の順番を変えたりは。

○会長

それもアリだと思います。1回、この3案になりましたって時点で、もう一回、意見を聞いて、場合によっては順番を変えるみたいなにしようかなと思います。

○委員

3票じゃなくてもいいですか。

○会長

1票でもいいですよ。最大1人3票までという、そういう状況です。よろしいですか。委員の皆さん目をつぶっていただいて。事務局は目を開けて、数えていただいて。上からいきますね。

どうもありがとうございました。

○藤本副参事

ご協力ありがとうございます。上の方から数を言っていきます。一番上が7です。7、その下が0、0です。4番目ですね。水と緑が10、ほほえみが7、水と緑に囲まれて3です。その下、豊かな自然が7、笑顔と自然が3、自然と暮らす1、以上になります。

○会長

となると、4案か。一番上の「人と自然」と、上から4番目の「水と緑と笑顔」と、「ほほえみと水と緑のまち」と、あと下から3番目の「豊かな自然と笑顔」の4案ですね。あとはこの中で、先ほど委員からあった文言整理ですね。多少、入れ替えたりとかもありだと思いますけども。もし、ご意見があればいただきたいと思います。どうでしょう。お願いします。

○委員

人と自然の調和みたいなことが、みんな出てきていると思うんですけど。プラス「活力」「活気」、こういう言葉が出てきていただきたいと思います。というふうに思います。以上です。

○会長

他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

笑顔とほほえみって二つ出ているんですけども、私の感じだと、「ほほえみ」だと優し過ぎるかなっていうか弱い。活気となると「笑顔」っていうイメージなのかなというふうに感じました。以上です。

○会長

そうですね。活気があれば笑顔出てきますからね。お願いします。

○委員

20年間って長いものなので、夢をつなげるというか、「夢」っていう言葉いいなと思っています。

○会長

「夢」を追加するという、ですよね、どっかに。他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

環境も大事なんですけど、まず人がありきかなと思うので、「水と緑と笑顔が輝く」ではなくて、逆転して「笑顔と水と緑」みたいな、先に人の感情だったり、活気が先に立つ文言の方がいいのかなと思いました。

○会長

そうですね。まずは人がいた方がいいかなという感じはしますね。それはそうですね。他にどうでしょう。お願いします。

○委員

今、他の委員がおっしゃった意見を踏まえて、ここの語呂の入れ替えをするならば、「笑顔が輝く水と緑のまち」っていうふうにすると言葉の流れがよさそうだなというふうに感じました。

○会長

他にどうでしょうか。お願いします。

○委員

そういうのは、次回に検討したらいかがでしょうか。今日は今決めたので、次回までに考えていただいて、それでゆっくり、その時にまた入れ替えたりなんかして決めていただいた方がいいんじゃないですかね。

○会長

今回、いろんな意見いただいて4案が決まっていますので、それとプラス、皆さん意見いただきましたので、それを私に一任していただいて、次回、再度ご提案して1案に絞っていきたいと思いますけども、その流れでよろしいですか。

○藤本副参事

今のご意見を踏まえまして、会長の方に3案を作成していただきたいと思います。その3案は、庁内でまた検討する必要があるがございます。ですので、庁内の検討の前に皆さまに情報提供させていただきます。

その後、庁内で検討させていただいて、次回の会議にはその3案の中から1案を市の方から提案させていただきたいと、そんな形で進めたいと思います。よろしいでしょうか。

○会長

よろしいですか。どうぞ。

○委員

もう3案決まって、1案を決める時には字句の入れ替えとかは駄目ということですか。

○藤本副参事

その段階では、庁内での検討を踏まえたものを皆さまの方にご提案するので、そこからの文言の訂正というのは正直、難しいかなというふうに考えています。その前は大丈夫ですけれども。

○会長

流れるには私の方で3案を絞り込んで、それを市役所の本部会議に出すと。出す前に再度、皆さんの方にメールで提示しますので、事務局の方でそこでまた、紙ベースかなんかで意見を書いていただいて、それを踏まえて本部会議に出すと、そういう流れ。

○田代企画財政部長

本部会議には3案出します。

○会長

本部会議で1案に絞られるわけですね。1案に絞られたものが次の審議会で提案されると、そういう流れでよろしいですか。なのでこの場での修正はなくて、今度は紙ベースというか、メールベースの修正になりますので、そこでご意見をいただきたいと思います。

よろしいですか、私に一任で。何とか私の方で頑張ろうと思いますので、分かりました。だいぶ急展開というか、だいぶ忙しくなったんですけども、一応、今回、決めたい点は決まりましたので、何とか私の方でもいいものを作っていきたいと思いますのでよろしく願いいたします。

こちらで一回、議題にありました、(2)のイは終了させていただきたいと思います。それでは、最後ですね。その他につきまして、事務局から連絡の方をよろしくお願いいたします。

(5) その他

○藤本副参事

そうしましたら、今日、当日配布資料をお配りさせていただきました、今年度の予定表になります。お手元の方にごさいますでしょうか。今年度の予定の方、情報提供、遅れまして申し訳ございませんでした。

1点、皆さまの方には、お知らせできた方にはお知らせしているんですけども、一番上の表にごさいます次回の会議なんですけれども、5月2日です。今回の会議資料の中で、次第の中で次回の会議、4月25日というふうに記載させていただいてしまったんですけども、申し訳ございません。うまかんべえ～祭と日程が重なっておりますして申し訳ございませんでした。

5月2日に訂正をさせていただいておりますので、次回の会議は5月2日ということで、場所はこちらになりますので引き続き、ご協力の方をお願いいたします。以上です。

○会長

ありがとうございました。それでは、全体を通じて何か皆さまから。

○委員

すみません、資料をメールで、電子データで資料をいただきたいのでお願いします。

○会長

どうぞ。

○委員

すみません。戻ってしまうんですけれども、1点だけ、すごく大事なんです。全体として男女共同参画っていう文言は、私としてはどうかなとは思ってますけれども、計画の中に入っていないと今後の男女共同参画基本計画とかに結び付いていかないのかなっていうふうに感じまして。

第二次基本構想では、「男女の共同参画を基本として」っていう文言は入ってるんですけれども、今回は入ってなくて、ちょっと、ぼやけた、分かる人には分かるような内容になっているので、その辺をどうされるのか、質問というか。ダイバーシティ・アンド・インクルージョンとか、そういった文言は使えるのか。

○藤本副参事

すみません。男女共同参画の関係なんですけど、これまでの議論の中で確か、男女という言葉、男女の前提というのが古いようなご意見もいただいたので、男女という言葉はあえて、その意見を踏まえて取ってるっていうところなんですけれども。そうすると分かりづらいということですね。

○委員

取っていただくのは構わないとは思ってますけれども、その代わりに、もうちょっと多様性の受容ですとか、ダイバーシティ・アンド・インクルージョンとかっていうことにしているかないと、市からの、今で言う男女共同参画の計画がなくなってしまうのかなっていうふうに思いまして。

○藤本副参事

今このお話というのは8/11 ページの方ですよ、資料3の8/11 ページの。

○委員

(5) のところ。

○藤本副参事

(5) ですね。男女共同参画も、ここに意味を含めているんですけれども。そういった言葉については基本計画、この下の基本計画の中では表現させていただこうかなとは思っていただけなんですけど。今のご意見を踏まえて、ここをもう一回見直した方が良いということでしょうか。

○委員

下でちゃんと落としていけるんだったら、いいかと思います。あと、その上の4番の、心豊かに暮らせるまちづくりで、多分、これだと、スポーツやレクリエーション活動等を通してっていうふうなのが上なので、それより、多様な考え方を認め合う社会の構築に取り組み、心豊かに暮らせるまちの実現を目指すためにスポーツやレクリエーションや地域活動があるっていうふうにしていかないと。

これ、スポーツやレクリエーションってなった段階で、すごく狭い範囲の話になってしま

うと思いました。なので、この順番を変えて、もうちょっと多様性が尊重できるような社会づくりのために何をするのかっていうところに持って行っていただければなと思いました。

○藤本副参事

次回まで検討させていただいて、お話しさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○委員

ありがとうございます。

○会長

他にどうでしょうか。よろしいですか。それでは、本日、予定しておりました案件は全て終わりましたので、第4回総合計画審議会はこれで終了したいと思います。どうもありがとうございました。

(6) 閉会

—以 上—